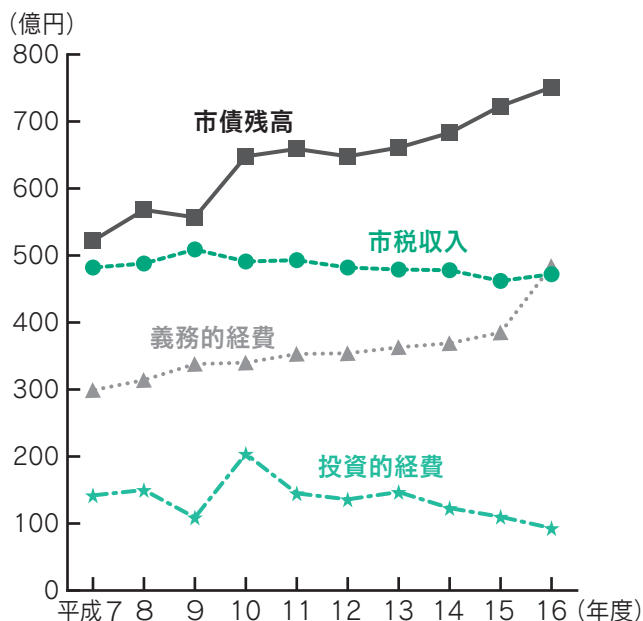


財政構造の推移（一般会計）



投資的経費＝普通建設事業費＋災害復旧事業費
義務的経費＝人件費＋扶助費＋公債費

市民1人当たりで見ると

一般会計

歳入
283,698円
(主な内訳)

市税
142,134円
(うち個人住民税
47,112円)
(うち固定資産税
61,342円)

歳出
272,193円
(主な内訳)

(目的別)	(性質別)
民生費 73,002円	義務的経費 145,783円
公債費 45,763円	(うち人件費) 59,675円
教育費 39,018円	(うち公債費) 45,763円
衛生費 33,331円	投資的経費 28,085円

市債残高（元金）

344,157円

（一般・特別・企業会計の合計）

*人口332,247人（平成17年3月31日現在）で計算。

特別会計

種 類	歳入（円）	歳出（円）	差引残高（円）
国民健康保険	26,711,391,003	25,469,299,443	1,242,091,560
老人保健医療	19,486,407,867	19,516,811,959	△30,404,092
休日急患・小児夜間診療	62,369,537	46,621,383	15,748,154
介護保険	9,016,889,802	8,848,332,538	168,557,264
母子寡婦福祉資金貸付	88,876,093	59,727,018	29,149,075
競 輪	2,292,213,728	2,198,342,088	93,871,640
公共地下駐車場	287,111,303	263,342,000	23,769,303
交通災害共済	62,496,784	62,490,667	6,117
農業集落排水	586,530,227	519,605,232	66,924,995
西口土地区画整理	781,758,698	762,483,030	19,275,668
特別会計合計	59,376,045,042	57,747,055,358	1,628,989,684

*老人保健医療事業特別会計の差引残高△30,404,092円については、翌年度歳入の繰上充用（次の年度の歳入を繰り上げて、その年度に充てること）により対応しました。

企業会計（千円未満四捨五入）

■水道

区 分	収 入（千円）	支 出（千円）	差引残高（千円）
収益的収支	7,072,255	6,195,607	876,648
資本的収支	906,530	2,424,249	△1,517,719

■公共下水道

区 分	収 入（千円）	支 出（千円）	差引残高（千円）
収益的収支	5,468,139	5,318,080	150,059
資本的収支	1,501,341	3,133,781	△1,632,440



南大塚駅南口の雨水貯留施設

収益的収支：家庭への給水や県水の受水、污水处理などの営業活動に伴う収入と支出のことです。

資本的収支：浄水場や雨水ポンプ場の整備、水道管や下水道管の整備などの設備投資に伴う収入と支出のことです。

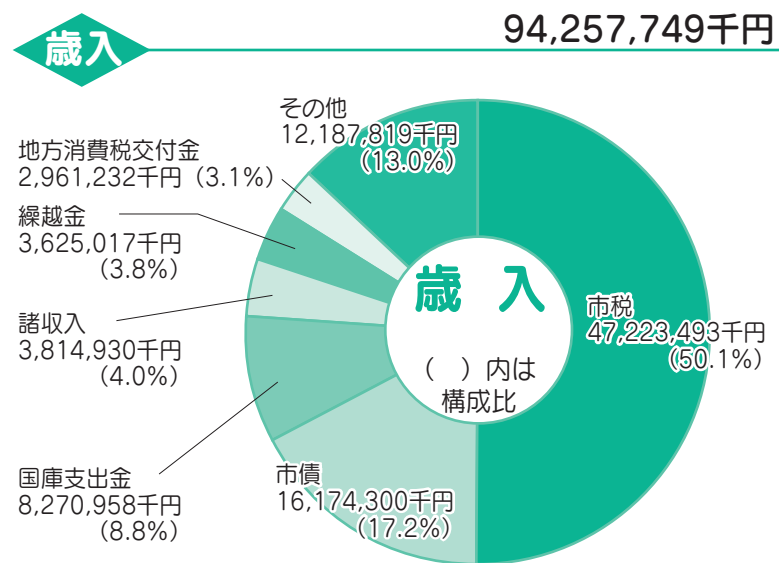
平成16年度決算報告

問い合わせ…財政課財政担当・TEL内線2312

平成16年度決算

会計区分	歳入 (円)	歳出 (円)	差引残高 (円)
一般会計	94,257,749,946	90,435,158,129	3,822,591,817
特別会計	59,376,045,042	57,747,055,358	1,628,989,684
総 計	153,633,794,988	148,182,213,487	5,451,581,501

一般会計



平成16年度の一般会計決算は、歳入が942億5,774万9,946円、歳出が904億3,515万8,129円となりました。差し引きは38億2,259万1,817円の黒字となっています。

平成15年度決算と比較すると、歳入が前年度対比7.8%の増加、歳出が7.9%の増加となりました。

その理由として、歳入については市税が前年度に比べ、10億4,342万4,623円の増加、市債が67億6,490万円の増加となったことなどによるものです。歳出については、平成7・8年度発行減税補てん債借換債の増加などによるものです。

財政構造的に見ると、その健全性は保っています。また、歳入の根幹である市税に伸びが見られます。しかし、ここ数年における市債の発行の増加に伴い、公債費などの義務的経費（その性質上任意に削減できない経費）が年々増加しているため、今後もさらに、健全な財政運営に努めていく必要があります。

